

# 凍霜被害が発生した果樹類の当面の管理

福島県農林水産部農業振興課

平成28年4月12日の低温、降雪により果樹類で凍霜被害が発生しました。被害発生時の発育ステージは、かきが発芽期から発芽直後、ももとなしは開花直前から開花期、りんごは花蕾露出期から花蕾着色期でした。

今後、生育が進み被害様相が明らかになってくるので、状況をよく確認して、適切な事後対策を行いましょう。

## 1 樹種共通

摘果は、果形や果面障害の状況が確認できるまで遅らせましょう。

着果量が少ない場合、追肥は徒長枝の発生を招くため、控えましょう。病虫害防除は通常どおり実施してください。

## 2 かき

発芽期から発芽直後に被害を受けたため、新梢の枯死、芽枯れが発生しました。花蕾の着生状況および結実状況が判断できるまで摘蕾、摘果は控えましょう。

予想される今後の生育は次のとおりです。

- (1) 残った芽や副芽からの発芽が進み、新梢数はある程度確保される。
- (2) 遅れて発生した新梢に着生した果実は肥大が劣る。
- (3) 副芽から発生した新梢は貧弱であるが、翌年の花芽は十分着生する。

## 3 なし

予備摘果は、結実状況が明らかになるまで遅らせ、果形や果面障害の状況を確認して実施しましょう。

## 4 もも

予備摘果は、結実や生理落果の状況を確認してから実施しましょう。また、凍霜被害の影響が胚（種子）及びその周辺部に見られるので、摘果前には果実を切断し、障害の程度を確認しましょう。

## 5 りんご

予備摘果は、結実を確認してから実施しましょう。中心果が被害を受けている場合は側果で代用し、着果量を確保しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7344

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧ください。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

○ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>